

第53回 いじめ・虐待防止 フォーラム

テーマ

学校を拒否した子どもたち



令和7年1月12日(日) 13:00 開場/13:30 開始～16:30 終了
新宿区戸塚地域センター・7F 多目的ホール 新宿区高田馬場 2-18-1
入場無料(完全申込制・希望者多数の場合は抽選となります)



【第1部 特別講演】不登校になる家庭の共通点

講師 小川涼太郎氏

株式会社スダチ代表、元アビームコンサルティング「不登校の9割は親が解決できる」著者

【第2部 特別講義】「岡田式 AC 判別法®」解説と実例

講師 岡田ユキ氏

情報化社会の中で陥りやすい誤った子育てとは？

【第3部 パネルディスカッション】先人に学ぶ子育ての知恵とは



坂本悠紀子氏

更生保護事業振興財団理事
全国更生保護法人連盟評議員
新宿区更生保護女性会会長



岡田ユキ氏

サークル・ダルメシアン代表
虐待心理研究所所長
「岡田式 AC 判別法®」理論創設者



高柳信夫氏

未来の家庭学代表
東京女学館小学校元副校長
社会福祉法人窓愛園監事

ファシリテーター



河内ふみ氏

未来の家庭学副代表
元新宿区職員・保育園勤務
保育園園長・ライクキッズ株式会社

★内容に関するお問い合わせ・お申し込みは下記までお願いします★

主催 児童虐待防止の市民活動団体サークル・ダルメシアン

後援 新宿区、新宿区教育委員会、社会福祉法人新宿区社会福祉協議会、未来の家庭学
新宿区更生保護女性会、東京・ボランティア市民活動センター、虐待心理研究所
一般社団法人虐待防止機構、特定非営利活動法人 Leaves of Grass



申し込み・お問い合わせ先 事務局 080-6651-0792 (担当河内まで)
ホームページ <https://circledalmatian.com/> メール bun2yukari.daisuki@gmail.com



お申込みフォーム

第53回 いじめ・虐待防止フォーラム

～ 現代社会における家庭教育の必要性 ～

現代社会において、家庭教育はますます重要になっています。

その理由は、情報過多や価値観の多様化、少子化、非行問題など、子供を取り巻く環境が複雑化しているからです。家庭では、知識だけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力など、社会で生きていく上で必要な「生きる力」を育むことが求められています。

特に、AIの発展により人間にしかできない能力が求められるようになり創造性や人間関係を築く力が重要視されています。

家庭教育は、子供たちが将来、社会で活躍できる人材へと成長するための基盤となります。

家庭の在り方を一度立ち止まって考えるためにも志ある方々と「**未来の家庭学**」を立ち上げました。

未来の家庭学代表 高柳信夫



YouTube

毎週ライブ更新中

サークル・ダルメシアン

児童虐待防止の市民活動団体

児童虐待防止に取り組む非営利団体として

社会で虐待の問題が表面化する以前の1996年から活動を始めました。当時は関連NPOやオレンジリボンなども存在しておらず、児童虐待の予防と啓発活動を通じて機能不全家庭の問題解決に取り組んできました。30年近い活動の中で、原因の一つに親子のコミュニケーション不足の問題があります。社会の最も基本的な構成単位である家庭が戦後の核家族化によって親へ成長する過程への継承が機能不全を起こし、その結果親子の人間関係が築けず「虐待やDV、不登校やひきこもり」といった機能不全を引き起こしていることも判ってきました。



機能不全家庭の問題に直面している人や問題解決の

支援を目指す専門家に向けた学びの場として始まりました。数ある既存の心理学を学んできた人、既存の理論等に満足できない人が「岡田式AC判別法®」を深く理解することにより、以前は原因や環境を深堀できず、対症療法的な手法で上手くいかなかった問題もスムーズに解決できるようになりました。問題の本質を無駄なく探ることができたことで、多くの問題を解決できる優れた人材を輩出しています。

岡田ユキの

虐待心理研究所



複雑化しているネットワーク社会や

人間関係をCAP専門カウンセラー養成講座で「岡田式AC判別法®」を学んだ専門家がより深く探求し、また後進の指導にも当たっています。これまでの多くの事例を解析した結果誕生したMCM(メンタルクロスマッチ)などの心理診断をはじめ、AI等のデジタル技術の活用や遺伝子研究の分野とも協力してさらに心理学的理論と科学的アプローチの相乗効果により、関連法案への提案や政策提言などを通して、より良い社会の実現に貢献していきます。

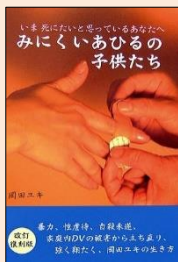
株式会社スダチ 小川涼太郎代表

関西大学経済学部を卒業後、アビームコンサルティングでプロジェクトリーダーとして活躍。

教育の重要性を感じ、2019年に株式会社スダチを立ち上げ、不登校支援に取り組む。

2024年10月時点での再登校人数は1200名を超え、平均再登校日数は18日。再登校率は90%を超える。

教育立国推進協議会の有識者として政府への提言や、書籍「不登校の9割は親が解決できる」(PHP研究所)を出版。



岡田ユキ作品集

